

## 「南信州の魅力」発掘・加工・発信事業

### 取り組みに至る背景・事業の目的

「南信州」地域に誇りと愛着を持ち、この地域が持続可能な地域社会となっていくため、そこに住む人々のネットワークを図ること、またそれによって住民自らが地域の魅力を再発見し、それを地域外に向けて情報発信していくことを目的とした。

### 事業内容

- 毎月1回、まちづくりサロン「キャンバセッション」を開催し、「南信州」について様々な角度から語り合い、ネットワーク化のスタートとした。
- 南信州の魅力を公・民で追求した地域紹介本『いいだ・南信州大好き』を刊行した。



【飯田・南信州大好き】

### 事業効果

- 「キャンバセッション」については、時には市外、県外からのゲストも招きながら、まちづくり、教育、地方自治、子育て、音楽など様々なテーマについて、楽しく語り合い一定の人的つながりを形成することが出来た。
- 『いいだ・南信州大好き』については、地元書店での販売、飯田・下伊那を研究フィールドとした「フィールドスタディー」の教科書としての使用。また、発売元を京都の出版社とし、全国的に販売を行うことで、地元住民による「地域のアイデンティティーの確認」や南信州の魅力の全国発信を行うことが出来た。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 「キャンバセッション」については、様々な人々にどう集まってもらうか、毎回のテーマ設定をどうするかを苦労した。「テーマ」はバラエティーに富んだ設定にすること、「人集め」については「魅力ある内容」を追求した。特にライブハウスを会場とすることで、音楽と語らいの組み合わせを行い、楽しさの要素も取り入れた。  
支援金事業が終了しても、「キャンバセッション」は継続して実施している。
- 『いいだ・南信州大好き』の編集については、「公」と「民」の視点、地域と地域外からの視点、客観性と主張、写真と文章、中心と周縁などのバランスを重視・工夫した。  
今後の取り組みについては、紙媒体の本だけでなく、HPを作成して、ネットによる全国への情報発信を行う。さらに地域の魅力を深く追求するため、拙本のコンセプトをテーマとした「いいだ・南信州大好き」講座を開催する。(2010年度支援金事業として実施中)

#### 【選定のポイント】

南信州の魅力をあらためて発見する機会を提供し、さらに地域外への情報発信を行うことで、交流等のきっかけとしていること、また、情報が網羅的であるが表面的ではなく、質が高く完成度が高い点が評価できる。

団体名 しんきん南信州地域研究所（飯田市）  
連絡先 主席研究員 安藤隆一 電話 0265-59-7701

事業タイプ	ソフト事業
事業費	1,507,000円
支援金額	1,507,000円